

### 吹奏楽 定期演奏会

第24回定期演奏会が12月20日(日)に本校体育館で開催されました。例年なら大ホールを借用して行うのだが、コロナ禍ということから、体育館で行われました。観客を200名以下に抑えたり、席を十分距離をとって配置したりして、感染症対策を十分に行っている開催となりました。曲目の準備だけでなく、あらゆる所への対策を講じての開催は、大変苦労したと思います。

#### 【演奏曲】

- 第1部 ミュージカル「レ・ミゼラブル」より
- 第2部 交響組曲「天気の子」ほか

どうにか開催する事ができて大変嬉しく思っています。開催までの練習及び準備は、大変だったと思います。お疲れ様でした。



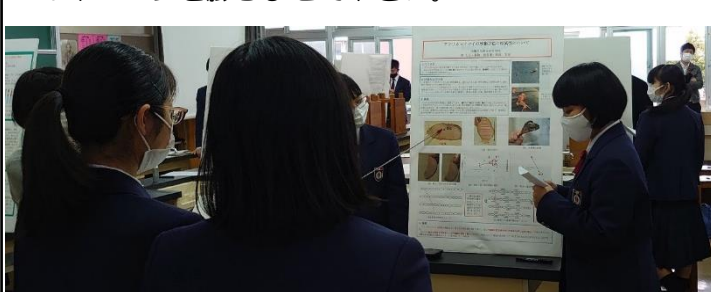
### SSHⅡ校内発表会

理数科2年生のSS理数探究Ⅱの分野別発表会が12月16日(水)に開催された。発表内容は、物理4・化学8・生物10・地学4・数学10の合計36グループの生徒がそれぞれのテーマで発表しました。

ポスター発表では、1年理数科の生徒にそれぞれのブースで研究内容を聞いてもらい、「評価用ルーブリック」を用いた評価を一生懸命行っていました。

また、各科目の専門的指導を行っていただくために、琉球大学から先生をお呼びして、指導助言を頂きました。来年8月に行われる「生徒研究発表会 全国大会」に出場できるよう、各チーム最後までしっかり研究に取り組んでください。

また、理数科1年生は、これから取り組む理数探究Ⅱへのイメージを膨らませて下さい。



### 3学年PTA 激励会

12月18日(金)にPTA3学年から高校3年生へ大学受験の激励を込めて、写真のような手作りマスクとお菓子の贈呈がありました。

お父さん、お母さんからの心のかもったプレゼントでした。マスクは、ミンサー柄になっており、県外の大学等へ行ったときもこれを使い、両親への感謝を忘れずに頑張ってくださいと思います。

後輩も激励しています。既に合格した人もいますが、合格を勝ち得て欲しいともいます。



### アドラーの言葉

ほめられたり感謝されなくても「貢献している」という充実感を味わうためにはどうすればいいのか？

「自分は役立っている」と実感するのに、相手から感謝されることや、褒められることは不要である。貢献感とは「自己満足」でいい。

共同体感覚を高めるためには「貢献感」を感じ、自己信頼を高めることが不可欠です。しかし、だからといって感謝されることや、ほめられる必要はありません。たとえ全員から無視されたとしても「貢献感」を感じることは可能なのです。

それは一種の自己満足です。「自分は正しいことをした。誰からも認められないが、誰かの役に立つことができた」。そのように自分一人で感じる事が、最も正しい「貢献感」の感じ方なのです。相手からの感謝や評価がないと貢献感を感じる事ができないとしたならば、あなたは常に相手に依存していることとなります。

相手がほめてくれなかったら、相手に怒りを感じるでしょう。そして感謝を求めてしまうでしょう。それは、本物の貢献感ではありません。本物の貢献感とは、相手に依存しない、自己満足でいいのです。

「人を相手にせず天を相手にせよ。天を相手にして己を尽くし、人をとがめず我が誠の足らざるを尋ぬべし」西郷隆盛の言葉です。人から認められることや感謝されることを求めずに「天=人」としての正しい道だけを見て行動しなさい、というメッセージはアドラーの教えに通ずるものがあります。